

第25回 Let's clean the coast!  
**海岸クリーンアップ**

**参加者募集**

1997年の「ナホトカ号重油流出事故」をきっかけに毎年実施し、今年で25回目になります。



**1 9月4日(土) 9:00~10:30**  
鷹巣海水浴場



**2 9月11日(土) 9:00~10:30**  
三国サンセットビーチ

**持ち物**

ゴミ袋は事務局で用意します。その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。

※悪天候により、事前に中止する場合があります。その際には連絡いたしますので、申し込み時に連絡先(電話番号)をお知らせください。  
※行事保険に(事務局負担で)加入します。



**お申し込み・お問い合わせは**  
福井県生協連合会まで

主催/福井県生活協同組合連合会  
協賛/福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会



# ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会  
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)  
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2021年8月6日 No.132

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

## 県連総会 6月3日(木)

General meeting

福井県教育センター4階大ホールにおいて第46回福井県生活協同組合連合会通常総会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止と安全確保に万全を期し、開催規模を縮小し運営を簡略化しての開催となりました。黒崎文夫副会長理事の開会宣言の後、福井県民生協の久島雅夫代議員が議長として選任され、続いて理事会を代表して竹生正人会長理事が挨拶し、以下の全議案が可決承認されました。



**可決決定された議案**

- 第1号議案 2020年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 2021年度活動方針及び収支予算決定の件
- 第3号議案 役員(理事9名 監事2名)選任の件
- 第4号議案 定款の一部変更の件



本総会の終結をもって理事及び監事全員が任期満了となり、役員として長らくご尽力いただいた、竹生正人氏、紙屋敏夫氏、黒崎文夫氏、田中光顕氏、清水政宏氏、須沢綾子氏の6名が退任されました。心から感謝申し上げます。  
今年度の役員体制は右記の通りです。

**2021年度 新役員紹介(敬称略)**  
理事9名 監事2名

- 会長理事 松宮 幹雄 (福井県民生協 理事長)
- 副会長理事 武田 道夫 (菅浜生協 理事長)
- 副会長理事 橋谷 和憲 (福井県学校生協 専務理事)
- 専務理事 織田 良 (福井県民生協 組織ネットワーク支援部 部長)
- 理事 嶋崎 邦彦 (福井県労済生協 専務理事)
- 理事 堀内 紀宏 (福井大学生協 専務理事)
- 理事 大塚 健治 (福井県庁生協 専務理事)
- 理事 中川 敦士 (福井県民生協 専務理事)
- 理事 佐野 誠 (福井県医療生協 専務理事)
- 監事 千本 茂樹 (福井県庁生協 事務局次長)
- 監事 松井ゆかり (福井県医療生協 本部事務局員)



引き続きくらしを守る視点を大切に、また、会員生協のさまざまな取り組みの紹介を積極的に発信していきます。今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ご報告とさせていただきます。

2021年

会員生協総(代)会議案書

第44期通常総代会を開催しました

2021年6月26日(土)
サンドーム福井
小ホール

福井県
医療生協

第44回通常総代会を開催しました

福井県医療生協の第44期通常総代会が、6月26日にサンドーム福井小ホールにおいて開催。[2020年度活動のまとめと事業報告及び決算・2021年の運動方針]をはじめとする議案の提案があり質疑・討議を経て全議案を採択しました。

総代会では、理事長のあいさつに続き、常務より、昨年1年間の健康づくり、まちづくり、組織づくりの振り返りと事業所の経営到達の報告、2021年度の活動方針と事業計画および予算、役員選任等の提案がされました。

続いて監事より監査報告があり、会場からの質疑を受けました。

理事長からは「コロナ禍の中で組合員のみなさんと事業所職員の力を合わせSDGs(持続可能な開発目標)に照らして医療生協として進めるべき項目を推進していきたい」と抱負を述べました。

全議案の採択後の第1回理事会にて専務理事、理事の退任と理事長の再任、新専務理事・理事の就任が確認されました。

本年度の総代会は、緊急事態宣言下の開催で規模や時間を短縮して行いました。



第64回通常総代会

2021年6月19日(土)
福井県教育センター
4階 大ホール

福井県
学校生協

第64回通常総代会を開催しました

2021年6月19日(土)、福井県教育センター 4階大ホールにて、第64回通常総代会を開催しました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し開催しました。次の5つの議案を承認いただきました。

- 第1号議案 令和2年度事業報告及び決算関係書類承認の件
第2号議案 令和3年度事業計画及び予算決定の件
第3号議案 役員補充に関する選任の件
第4号議案 定款の一部変更の件
第5号議案 役員報酬決定の件

令和3年度の主な事業計画

- 1. コンプライアンスに則った学生協の運営・組合員の拡大・組織の活性化を進めます。
2. 経営数値の改善を進めるとともに、経営組織に貢献できる人材を育成します。
3. 組合員を基本とした供給事業の再構築により供給事業の減少に歯止めをかけ、事業剰余金での黒字を目指します。
4. 全国学校生協の仲間と協同と連帯を推進し、教職員を取巻く関連団体との提携を進め、各地の被災地の復興に貢献します。



第64回通常総代会

2021年6月25日(金)
(一財)福井県教育センター

福井
県庁生協

新しい役員体制による、第9次中期計画スタート

第64回通常総代会は、6月25日(金)午後3時から、福井県教育センターに於いて、本人出席5名、委任状10名、書面議決81名、合計96名(総代総数120名)の出席を受け開催されました。



今回の総代会は、前年度同様、新型コロナウイルス感染防止の観点から、来賓の方々のご出席を控えていただくとともに、総代の皆様には書面による議決をお願いするなど、規模縮小・時間短縮で開催させていただき、2020年度の決算報告など、提出した6議案は全て可決承認されました。

新しい役員体制で臨む今後の活動については、第9次中期計画を基本とし、必要とされる生協であり続けるため、存在価値を問い続け、組合員、母体に役立つ存在であり続けなければなりません。

直面する課題を一気に解決することは困難なことですが、効率的に段階を踏むことで、その課題をチャンスにできる可能性もあることを忘れずに事業を推進していきます。

また、母体や組合員への貢献を明確にした経営政策を目標に掲げ、それを中期計画にて具体的な実行施策として着実に実現していくことが、福井県庁生協の今後の発展につながるものと信じ、具体的な改革案への取り組みを強化します。

第51回通常総会開催

2021年2月23日(火) 菅浜農改センター

菅浜
生協

組合員の利用なくして生協の存続なし
全ての議案が可決承認

去る、2月23日(火)菅浜農改センターに於いて第51回通常総会を開催いたしました。今年の総会はコロナ禍に対応し「書面による議決権利行使」が殆どでした。岩本議長の進行のもと、全ての議案が原案通り可決承認されました。

令和2年度はコロナ感染防止対策のため海水浴場及び駐車場が閉鎖され、また区内の行事・イベントの中止等により供給高が計画に対し、大幅に減少しました。

これに対し国の持続化給付金等210万円、役員報酬返納等により経営悪化を組み止める対策をとりましたが、最終的には当期損失金を計上してしまいました。

令和3年度もコロナ禍が続くようであれば、厳しい状況が続きますが、通期駐車場の開設、季節に応じたイベントの開催、予約注文販売の拡大等、積極的な運営を行い、供給目標額の達成に向け、役職員一同努力致します。

当生協が安定経営を継続して行くには、やはり組合員の皆様にご利用頂くことが一番重要でありますので、今後とも組合員の皆様ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



役員改選選挙により新体制が以下の通り決定致しました。
今後は新体制により、役職員一丸となって生協発展のために頑張りますので、引き続きご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

理事長：武田道夫 専務理事：清水政宏
理事：梅津良一、竹本繁夫、塩野孝弘 監事：田中秀穂、吉本健造

第67回通常総代会

2021年5月25日(火)
福井大学文京キャンパス
教育系一号館大1講義室

福井大学
生協

第67回通常総代会を開催しました

今年度も新型コロナウイルスの影響により、遠隔授業が続いている中、予定通り5月25日に開催いたしました。今年度も当日は3密を防ぐ観点で、出来る限り書面議決での参加をお願いし、総代選出数110名の内、実出席17名、書面議決85名、代理出席2名の合計104名の出席を得ました。



すべての議案が賛成多数で可決承認され、役員立候補者も全員が信任投票で当選・就任されました。発言としては、参加総代から「総代交流会」の提案がされ、生協に対する要望や意見交換の場について、その時期の無理のない方法で開催をする事を発信されました。

2020年の決算の特徴は、福井大学の教職員の皆さまのご協力により、校費供給は伸びましたが、学生が遠隔授業で登校しないための、日常的な食品事業の大幅減少を埋める事は出来ず、総供給高4億1,096万で、前年比▲38.5%と大きく減少しました。これにより、事業剰余は▲4,181万円、国からの補助金や支援金を差し引いても、当期剰余金は▲2,013万円と大きな損失となりました。

2021年度
第1回地区推進
委員会を開催
しました

福井県
労済生協

I. 地区推進委員会において2021年度推進活動の最重点課題を討議

2021年6月に県下6地区で推進委員会(書面開催)を開催し、2021年度推進活動の最重点課題などについて討議をおこないました。

2021年度推進活動の最重点実行課題

- ① 共済推進活動と社会課題解決が連動した推進を展開します。
② 従来の大量広告宣伝・ダイレクト推進を起点とした推進活動から、組合員を起点とする推進活動へ転換します。
③ ライフイベント(結婚・出生・就学)の変化や、ライフスタイルの多様化に合わせた「新しい生活保障設計」の考え方もとづく推進を展開します。
④ 商品改定に伴った団体生命共済・マイカー共済の推進強化をはかります。
⑤ 福井県労済60周年記念事業を展開します。

II. 2020年度に発生した大規模災害への対応状況

2020年度においても、2021年1月に北陸・東北地方で発生した大雪被害や2月の福島県沖地震などの自然災害が発生し、迅速な共済金のお支払いにむけた対応をおこないました。福井県および全国の被災受付と支払い状況は以下のとおりです。(2021年7月7日時点)

- 2021年1月大雪被害
・ 福井県 被災受付件数: 1,441件、お支払い共済金額: 約3億9,200万円
・ 全 国 被災受付件数: 23,010件、お支払い共済金額: 約49億3,200万円
■ 2021年2月福島県沖地震
・ 全 国 被災受付件数: 15,538件、お支払い共済金額: 約44億1,300万円

A bill book digest of consumers' cooperative

第43回 通常総代会

2021年6月24日(木)
県民生協本部センター

福井
県民生協

2030年ビジョン実現に向けて新たな挑戦を始めよう

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して時間短縮で開催しました。第10次中期計画、2021年度事業計画など6議案全てが賛成多数で可決承認されました。今年度は2年に一度の役員改選が行われ、新しい常勤役員体制、理事会・監事会体制になりました。

【新常勤役員体制】

Table with 3 columns: Position, Name, and Photo. Includes Representative Director (Shimizu Kenji), Executive Director (Hirota Mitsuo), and Regular Directors (Nakagawa Masahiro, Nozaki Kenji).

2021年度基本課題

- ① 創業50年、第10次中期計画のスタート年。2030年ビジョン実現に向けて事業と活動、地域のネットワークをさらに推進します。
② 食と福祉と助け合いで安全安心の価値を高め、地域と組合員から頼りにされる生協をめざします。
③ SDGs達成のための取り組みを推進し、持続可能な社会の実現をめざします。
④ 職員幸福度県内 NO.1 組織をめざし、多様な働き方による人財確保と自律した職員育成に取り組めます。



福井県労済生協の総代会は、7月28日に開催されました。次号に掲載します。

ダイジェスト